

特定非営利活動法人だっぴ
2020 年度（令和 2 年度）・第 8 期
事業報告書

【期間：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日】

2020 年度を振り返って

新型コロナウイルスによってもたらされた“人との接触をできるだけ回避する”という生活の変化は、人とのつながりを希薄化させるような影響もありました。中学校の職場体験を中止にせざるを得ない地域もあり、中学生の進路意識を醸成しにくい環境が続きました。一方で、オンライン会議ツールの普及によって、デジタルを媒介したコミュニケーションが進んだ、そんな 2020 年度だったかと思います。

私たちだっぴの活動もまた、コロナ対策の試行錯誤を行う 1 年となりました。だっぴの対話は、異なる他者の「存在」が重要です。直接的な接触を避けるという制約の中、感染予防対策を行ってのオフライン実施や、オンライン実施などで、若者と大人のつながりづくりを行いました。中学生 740 人、高校生 479 人、大学生 624 人、大人 621 人がだっぴの活動に参加してくれたり、ともに場づくりをしてくださいました。本当にありがとうございます。

2020 年度は、大きく 3 つのチャレンジがありました。1 つ目は、「中学生・高校生だっぴ」のプログラムのブラッシュアップ。3 年ほど前から地域ごとにプログラムが少しずつ変化していった結果、その違いは“地域らしさ”になりつつあります。そこにいる人や資源、それら地域によって異なるものを活かしながら多世代交流の場づくりを行っていきたいと思っています。

2 つ目は、その「中学生・高校生だっぴ」の“ノウハウ移転の先”の事例が生まれてきていること。子ども・若者の学びが学校だけで完結できるわけではなく、学校教育と相互補完的な学校外の教育を耕していく意味でも、だっぴはそのきっかけになっていきたいと考えています。いくつかの地域では、だっぴの対話だけでなく、子ども・若者の関心に沿ったチャレンジの機会や学びづくりが行われています。地域の力だからこそ成し得る教育を豊かにしていく活動を、地域の人たちとともに挑戦していきたい。たくさんの人たちに“教育の関わりしろ”をつくっていきたいと思っています。

3 つ目は、オンラインのつながりを考えること。非接触での交流を考える際、オンラインの場合はオフラインの代替とはなりません。それよりも、別の何かとして設計していくことが重要で、その設計の中で「オンラインのつながりとは」を考えながらトライが繰り返されました。その 1 つとして、これまでだっぴに関わってくださった大人の人たちをアーカイブしていく WEB メディア「生き方百科」があります。

私たちは、多くの地域で若者と大人がつながる機会を定着させていくことを命題に掲げ、活動を行っています。この報告書にある活動や数字はその一部で、それ以外にも、多くの方が活動を支え、支援をしてくださっていることにも変わらず感謝をしています。

自分の解は自分でしかつくれない。自分の人生を自分で開拓していける若者が増えたらいいなと思っています。しかし、それは自分 1 人でつくれるものではありません。様々な人たちの在り様に触れて、その出会いの中で自分の可能性を広げながら、生きることを試行錯誤していく。「いい出会いは、いい人生をつくる。」とは、そういうことだと思います。私たちもまた、試行錯誤を止めず、私たちにできることを丁寧に継続していきます。

皆さんとの挑戦で、地域を豊かにしていきたい。

どうか、引き続きよろしくお願いいたします。

NPO 法人だっぴ
代表理事 森分志学

各事業の運営に関して

1. だっぴ 50×50

これからの担う若者と様々な世界で活躍する大人の交流機会をつくることで、学生が多様な生き方や働き方を知り、これからの自分の在り方を考える。また、若者たちが自分たちのための機会を「つくる」経験を通して、創造力やチャレンジ精神を養う。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> 若者が地域の大人と出会うことで、広い視野で主体的に進路選択できるようになることを目指す。 地域の様々な課題に対しても主体的に取り組み、解決する若者を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員として参画した大学生の主体性や行動力を育むことができた。 岡山の様々な大人と大学生をつなぐことで、新たな関係性の構築や若者の次の一歩を支援することができた。
実績	
<p>日時 2021年2月28日（日）</p> <p>会場 オンライン（zoom）</p> <p>参加者 大学生 50 名、キャスト 14 名、大人 40 名</p> <p>企画運営において大学生がより主体性をもてるような「自分たちで考えて行動する」環境をつくるかたちで実施したことによって、学生たちが能動的に活動していた。新型コロナウイルス対策としてオンライン開催に切り替えざるを得なかったが、参加者の大学生がだっぴ 50×50 でつながった大人のもとに後日個人的に赴くなど、つながりのきっかけの場にすることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">助成</div> <p>岡山市 ESD 活動支援助成</p>	
課題・展望	
<p>企画にチャレンジした大学生たちの自己実現機会となった。彼ら自身も、そもそも自己肯定感・自己効力感が高いというわけではなく、今回の経験が彼らの自信につながっていることが事後ヒアリングで明らかになった。2021 年度もオンラインでの実施に変更せざるを得ない場合は想定されるので、オンラインでの体験価値を高める方法について模索していきたい。また、関わってくださっている大人の人たちをアーカイブしていく点で、生き方百科との連動を行う。</p>	

2. 中学生・高校生だっぴ

中高生×大学生(世代)×大人の三者がフラットな関係での対話を通して、お互いの経験や価値観などを共有するプログラム。中高生の自信や未来への期待、地域社会に関する当事者意識を高める。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> 中高生が自分と違う意見を認め、自己表現することへの自信をもつ 中高生の地域や社会への当事者意識を高める 中高生が大人に対するイメージを再構築し、未来への希望をもつ 大学生が地域参画の機会を通して、成長する 	<ul style="list-style-type: none"> 中高生の自己肯定感や自己効力感を高めることができた。 中高生の大人に対するイメージを再構築し、将来への期待を向上することができた。 中高生や大学生の地域社会に対する当事者意識を高めることができた。 ノウハウ移転によって中学生だっぴの継続可能性を高めることができた。

実績

実施校・参加者一覧

実施日	名称	会場	参加者数			
			中学生	高校生	キャスト	大人
2020年6月13日(土)	オンラインだっぴ×誠和学舎	オンライン	10	9	6	6
2020年7月19日(日)	中学生だっぴオンライン	オンライン	16		18	10
2020年8月30日(日)	中学生だっぴオンライン	オンライン	3	3	3	6
2020年9月10日(木)	鳥取県立青谷高校生だっぴ	青谷高校		57	18	19
2020年9月11日(金)	赤磐市立吉井中学生だっぴ	吉井中学校	66		25	21
2020年9月25日(金)	赤磐市立高陽中学生だっぴ	高陽中学校	82		33	27
2020年10月18日(日)	西粟倉村立西粟倉中学生だっぴ	あわくら会館/オンライン	11		8	5
2020年10月30日(金)	赤磐市立赤坂中学生だっぴ	赤坂中学校	18		10	8
2020年11月7日(土)	倉敷高校生だっぴ	倉敷高校		22	12	10
2020年11月25日(水)	岡山市立建部中学生だっぴ	建部中学校	24		7	8
2020年12月2日(水)	備前市立片上高校生だっぴ	片上高校		11	1	10
2020年12月19日(土)	岡山県立津山中学生だっぴ	津山中学校	64		26	29
2021年1月9日(土)	早島町立早島中学生だっぴ	早島中学校	102		41	41
2021年1月23日(土)	はらたくなこ@美作高校	オンライン		71	34	40
2021年2月6日(土)	倉敷市立庄中学生だっぴ	庄中学校	123		1	4
2021年2月10日(水)	津山市立勝北中学生だっぴ	勝北中学校	56		12	38
2021年2月16日(火)	備前市立日生中学生だっぴ	日生中学校	35		14	33
2021年2月16日(火)	備前市立三石中学生だっぴ	三石中学校	9			12
2021年2月17日(水)	KTCおおぞら高等学院×だっぴオンライン	オンライン		57	12	11
2021年2月18日(木)	備前市立備前中学生だっぴ@オンライン	オンライン	119		63	43
2021年2月25日(木)	岡山県立鴨方高校生だっぴ	鴨方高校		95	29	32
2021年3月16日(火)	岡山県立林野高校生だっぴ	林野高校		112	41	36
計			738	437	414	449

課題・展望

コロナ対策としてオンライン開催も行ったが、オンラインのだっぴはオフラインの代替というよりは、別の機会として発展させていった方がよいと感じた。また、昨年度に引き続き、各地域でのノウハウ移転を行い、中学生だっぴのローカライズを進めた。各地域の実行委員会では、中学生だっぴ以外の活動も始まり、学校外の学びの機会を豊かにしていく。いくつかの地域の協働パートナーらとユースワークについて勉強する機会をつくり、2021年度からは備前市で中高生の居場所づくりプロジェクトを実行委員会メンバーらと始める予定。

3. テーマ・ぶちだっぴ

テーマを絞った「若者×大人」の交流機会。教育の道を志す学生と教育に関する様々な世界で活躍する大人が、多様な教育観を学び合う「教育×だっぴ」や、岡山の企業人と“働く”について考えることを通して、学生が自分の働き方について視野を広げて考える「働く×だっぴ」を実施。「ぶちだっぴ」は大学生が「自分がつくりたい」と思う場づくりにチャレンジする機会。

目標	成果
(教育×だっぴ) ・ 教育の道を志す学生が多様な教育観や選択肢を知り、教育へ関わる熱量を高める。 (働く×だっぴ) ・ 学生が自分の働き方について考え、視野を広げ、働くイメージをより鮮明にする。 (ぶちだっぴ) ・ 大学生が自分の関心を出発として場づくりを行い、その成長に寄与する。	(教育×だっぴ) ・ 参加者が多様な教育観を理解し、自分なりの教育の軸を見つけようとするきっかけになった。 (働く×だっぴ) ・ 学生が自分の働くイメージをより鮮明に持つことができた。 (ぶちだっぴ) ・ 企画した大学生の主体性や行動力を育むことができた。

実績

実施イベント・参加者一覧

教育×だっぴ						
実施日	イベント名	会場	参加者数			
			中学生	高校生	大学生	ゲスト
2021年1月17日(日)	教育×だっぴオンライン	オンライン			17	16
働く×だっぴ						
実施日	イベント名	会場	参加者数			
			中学生	高校生	大学生	ゲスト
2020年12月20日(日)	岡山県北働く×だっぴ	オンライン	1	10	2	8
2021年2月16日(木)	働く×だっぴオンライン	オンライン		7	1	
計			1	17	20	24

実施日	イベント名	会場	参加者数			
			大学生	高校生	中学生	大人
2020年4月12日(日)	お家におじゃまします	オンライン	4			2
2020年4月17日(金)	ぶちだっぴ	オンライン	3			2
2020年5月6日(水)	読書だっぴ	オンライン	11			1
2020年5月10日(日)	心理テストだっぴ	オンライン	7			1
2020年5月16日(土)	オンラインだっぴ体験会	オンライン	5			3
2020年5月24日(日)	あなたのすてきに気づきたい！	オンライン	9	1		6
2020年6月27日(土)	社会教育×だっぴ	オンライン	4			22
2020年7月12日(日)	趣味について話そう！	オンライン	6			3
2020年9月5日(土)	小説だっぴオンライン	オンライン	5		1	
2020年9月17日(木)	ぶちだっぴ	事務所	2			1
2020年10月24日(土)	居場所だっぴ	事務所	3			2
2020年12月24日(木)	メイクで垢抜けて可愛くなろう	オンライン	4			
2021年1月10日(日)	ぶちだっぴ	事務所	5			
計			68	1	1	43

課題・展望

テーマだっぴはどちらの機会も、実社会への接続を狙いに社会構造やそこで働く人の価値観などを理解する深い対話が重要であると感じた。今後も、大学生の「やってみたい」を実現する場として機能するとともに、イベントの広報効果によって幅広い層でのだっぴの認知を高めていきたい。

4. 生き方百科

だっぴ参加後の中学生・高校生がさらなるキャリア探究を行えるよう、岡山の大人の生き方をアーカイブした WEB メディアを構築する。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> 中高生・大学生のキャリア観や社会観を広げる。 多様な大人に「教育の関わりしろ」をつくることで、学校外の教育力を高め、学校と社会をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 中高生が様々な大人の生き方・働き方のロールモデルを知ること、キャリア観の広がりやそれに類する気づきを得られることや将来に対する探究心の向上につなげられる。

実績

①WEB メディア「生き方百科」

岡山の大人の生き方を紹介する WEB メディアを中高生・大学生に届ける。2020 年 5 月プロジェクト開始、2021 年 1 月に公開。

②若者が様々な人たちとオンラインでつながる

中高生・大学生と大人、高校生と大学生が出会い、対話する機会をオンラインでつくる。

実施日	イベント名	会場	参加者数			
			大学生	高校生	中学生	大人
2020年5月30日(土)	生き方百科だっぴオンライン	オンライン	26	2		10
2020年8月23日(日)	生き方百科だっぴオンライン	オンライン	15			9
計			41	2	0	19

その他

【ユース・ミーツ・生き方オンライン】 09/06、11/30

【大学生に色々聞いてみませんか？@矢掛高校】 11/17、12/16、1/27、3/25



助成

令和 2 年度社会教育館関係団体による地域パワーアップ事業(岡山県生涯学習課)

令和 2 年度教育文化助成 (公益財団法人福武教育文化振興財団)

課題・展望

「生き方百科」は今後記事数を増やしていく中で、中高生・大学生の声を拾いながら、記事内容に反映させていきたい。また、生き方百科を軸にしながら、動画・音声メディア・イベントなど多角的な展開を行う。コンテンツ企画開発とつながりづくりを行い、教育コミュニティの付加価値を高めることと拡張を目指す。矢掛高校をはじめ、キャリア教育や進路学習、探究学習などの領域で学校との連携方法を試行錯誤していく。

5. 探究学習

矢掛高校 2 年生の探究学習「ESD 探究」と連携して、高校生がファシリテーションを学ぶ機会をつくる。そのゴールとして、倉敷市立蘭小学校で行われる「蘭っ子だっぴ」にて、高校生がグループのファシリテーターにチャレンジする。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーションを学ぶことを通して、高校生が他者と関わる・つながる力を身につける。 小学生が高校生や大人と対話することで、多様な考え方を知り、地域社会とつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の他者と関わる・つながる力の向上やその力を高めようと動機づけを行うことができた。 小学生が自分のことを表現する力や他者そして地域社会と関わる力を身につけることに寄与できた。

実績

【ファシリテーション探究】

日時 9/15、9/29、10/6、10/27、11/17、11/24

会場 岡山県立矢掛高校

対象 高校 2 年生 22 人



【蘭っ子だっぴ】

日時 2020 年 12 月 18 日（金）

会場 倉敷市立蘭小学校

対象 小学 6 年生 44 人、高校生 22 人、大人 30 人



課題・展望

この探究学習をきっかけに高校生たちの「他者と向き合う」姿勢が変化したということが、本人たちや先生からの事後ヒアリングによって明らかになった。その後の立ち振る舞いや学校生活にも良い影響を及ぼしていることが見受けられるので、矢掛高校とは引き続き探究学習との連携を行っていく。他の高校での横展開も模索していきたい。また、蘭っ子だっぴについては、昨年度に引き続き、小学生が 2 年前の西日本豪雨災害での経験を自分の中に意味づけとして省察していく機会として行われた。学校からの継続要望は強く、継続していく体制づくりを考える必要がある。

6. 大学連携

岡山大学では「キャリアデザインⅡ（第2・第4学期）」の授業を担当。受講生は中学生・高校生だっぴのキャストとして参加する。ノートルダム清心女子大学や岡山県立大学、山陽学園大学などとインターンシップ連携。

7. 講演講師・研修

津山市役所の新入職員を対象としたファシリテーション研修を実施。受講職員は実践として中学生・高校生だっぴのキャストとして参加した。

8. イベント等企画コラボ

場づくりのスキルを活かし、また、オンラインイベント等での話題提供者として他団体とコラボ。

実績一覧

- ・ エデュコレ online
- ・ U-35 SANUKI プレゼン&トーク
- ・ コミュニティファシリテーター講座
- ・ 東南アジア青年の船未来会議
- ・ 3rd place in 灘崎×だっぴ
- ・ 岡山市立公民館大会
- ・ 地方×中高生の居場所だっぴ

9. 中学生白書

3年目の発行。2019年度の中学生だっぴに参加した中学生のアンケートデータを集計して制作した。岡山の中学生の現状とだっぴの成果について普及啓発する。

10. 中学生・高校生だっぴサミット

新型コロナウイルス対策としてオンラインでの開催。各地域の中学生だっぴ実行委員会の取り組みを共有したり、だっぴに関わってくださっている人たちとこれからの多世代交流について話し合ったりした。